



# 幼稚園便り

..... 5 月 号 .....

令和 5 年 4 月 2 8 日  
中央区立月島第二幼稚園  
園長 竹谷 直史

豊かな環境とあたたかな思いを大切に

園長 竹谷 直史

月二の青空に子どもたちの作ったこいのぼりが泳ぐ、爽やかな5月を迎えました。身体を動かすだけでなく、砂場で楽しんだり虫や自然物を取り入れた活動をしたりするのも心地良い季節です。

今年度が始まって一ヶ月、子どもたちの動きを見てみると、一日の生活の展開がスムーズにできていると感じます。朝から「緑のはらっぱ」を使用してしっかりと身体を動かす活動をし、「探検ロード」やプランターで思い思いに自然物にかかわってベンチやウッドデッキで色水遊びをする姿、室内でもフリースペースを思う存分に使って活動を展開する姿、互いの学年同士が自然な形で交流できるようにしたり、また、重ならないようにもしたりと、これらの姿はこれまで本園で日常的に展開されてきた姿であることが推察できました。そして、その姿を引き出す環境には、各種の思いやあたたかな配慮が込められていることも伝わってきます。

例えば、全天候型の「緑のはらっぱ」では、クッション性の優れた素材の人工芝が敷かれているため、安心してダイナミックな活動をすることができます。広範囲の壁面にはクライミングが、天井にはぶら下がりロープ等を牽引可能なフックが多数設えられており、身体を動かすためのニーズをしっかりと満たしています。「探検ロード」の植栽は、幼児にとって必要な多種多様な品種となっています。ウッドデッキや砂場の上部にはオーニングが設置されており、日差しや雨にも対応できるようになっています。これらの環境は、他園と比較してみても非常に恵まれたものとなっています。

人間、その場で暮らしていると慣れが生じ、ありがたみを感じていたはずのことがいつしか当たり前になってしまいがちです。だからこそ、幼児の一挙手一投足を見ながらその動きが保障されてきたことへの思いを馳せていくことも忘れないようにしていきたいものです。

本園の元気な子どもたちの姿のその背景には、地層のように長い年月をかけて何層にも積み重ねられてきた多くの方々のあたたかな思いがあるはずです。その重みを感じながら、新たな地層を重ねるかの如く充実した日々を展開できるよう努めてまいります。今月も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## < 5 月の目標 >

年少組	・幼稚園での生活の仕方が分かり、自分のしたい遊びを見付けたり、教師のすることに興味をもったりして遊ぶ。
年中組	・自分のしたい遊びを繰り返したり、気の合う友達と一緒に遊んだりすることを楽しむ。 ・いろいろな遊具で、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
年長組	・自分の思いを伝えたり、友達の思いに気付いたりしながら遊ぶ。 ・学級や学年の友達と一緒に十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
安全目標	・親子でしっかり手をつないで歩き、安全に登降園する。
生活目標	・自分の持ち物は自分で持ち、家では決まった場所に自分で片付ける。

